

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第五部 操り絵尽し本 鬼一法眼三略巻	影印 翻刻	芸能史研究会		日本庶民文化史料 集成	第七巻 人形浄瑠璃	①昭和50年10月 ④三一書房 ③享保16年9月竹本座。天理図書館蔵本、翻刻有。 版元・刊記無
		資料	浦部幹資		義太夫年表	近世篇別巻 〈索引篇〉	①平成2年11月 ④八木書店 ③天理図書館蔵。「浄瑠璃絵尽し所在目録」に収録
	義太夫絵尽 * 鬼一法眼三略巻 (包紙欠。「操芝居絵草紙上」のうち。)	資料	早稲田大学坪内博 士記念演劇博物館 =編		早稲田大学演劇博 物館所蔵特別資料 目録10 千葉胤男 (辻町)文庫 古 浄瑠璃・義太夫節 篇		①平成16年3月 ④早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 ③宝暦6年6月竹本座
			浦部幹資		義太夫年表	近世篇別巻 〈索引篇〉	①平成2年11月 ④八木書店 ③「浄瑠璃絵尽し所在目録」に収録
	音曲口伝書 * 鬼一法眼	演出	順四軒=編著 郡司正勝=校注	竹本播磨少 掾(《2》竹 本義太夫)	日本思想大系61 近世芸道論		①昭和47年1月 ④岩波書店 ③明和8年撰、安永2年9月刊。大坂の吉川惣兵衛・ 村上清三郎、江戸の丹波屋理兵衛・鱗形屋孫兵衛合 梓。大正3年3月刊『音曲叢書』第1編、昭和19年7月 刊日本演劇文献集成第2巻『浄瑠璃研究文献集成』 にも翻刻有
	鬼一法眼三略巻 菊畑の段に就いて	梗概	竹本其太夫=筆授	鶴沢名門二 =口演	浄曲百段語り物の 訳		①明治39年4月 ②其中堂
	近松座第三回興行	劇評			浪花名物浄瑠璃雑 誌	第104号	①明治45年5月 ④浄瑠璃雑誌社 ③明治45年4月近松座所演
カ42	作の趣向	解説	伊原青々園		演芸画報	第9年 第2号	①大正11年2月 ④演芸画報社
	巷説 判官みやこばなし 一名鬼一法眼	研究	島津久基=編著		近古小説新纂	初輯	①昭和3年4月 ④中興館 ③昭和58年10月有精堂出版より複製
	文楽座四月興行	劇評			浪花名物浄瑠璃雑 誌	第302号	①昭和6年6月 ④浄瑠璃雑誌社 ③昭和6年4月四ツ橋文楽座所演
	義経に関する主なる諸伝説 * 鬼一法眼伝説 * 橋弁慶伝説	研究	島津久基		義経伝説と文学		①昭和10年1月 ④明治書院 ③昭和52年5月大学堂書店より複製版

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	明治座の文楽聴観	劇評	安部豊		演芸画報	第33年 第9号	①昭和14年9月 ④演芸画報社 ③昭和14年8月明治座所演
439	文楽座十月興行合評記	劇評	太宰施門／鴻池幸 武／武智鉄二／森 下辰之助		浪花名物浄瑠璃雜 誌	第383号	①昭和14年10月 ④浄瑠璃雜誌社 ③昭和14年10月四ツ橋文楽座所演
	神無月文楽評判	劇評	草紙亭小太郎		上方	第106号	①昭和14年10月 ④創元社 ③昭和14年10月四ツ橋文楽座所演（短評）
				上方	第9巻	①昭和45年9月 ④新和出版社 ③上方刊行会＝監修、『上方』第106号を復刻所収	
プ20	文耕堂の浄瑠璃	研究	増田七郎		国語と国文学	第18巻 第12号	①昭和16年12月 ④至文堂
	文耕堂について	研究	近石泰秋		国語国文学研究 論考と資料	第7輯	①昭和17年5月 ④名古屋国語国文学会
	鬼一法眼三略巻	解説	黒木勘蔵		近松以後		①昭和17年9月 ④大東出版社 ③大東名著選42
	「鬼一法眼三略巻」の劇的性格	研究	中村吉蔵		日本戯曲技巧論		①昭和18年12月 ④中央公論社
	二代目鶴沢勝七師へ入門と松島文楽時代	芸談	鴻池幸武	《1》鶴沢道 八	道八芸談		①昭和19年1月 ④私家版 ③《2》豊沢団平の『五条橋』補曲について。武智 鉄二の注を加えて昭和62年11月ペリかん社より再刊
	菊畑のおもしろさ	鑑賞	渥美清太郎		演劇界	第5巻 第8号	①昭和22年12月 ④日本演劇社
カ20、 485	鬼一法眼三略巻	梗概 解説	黒木勘蔵		日本文学大辞典	第二巻	①昭和25年5月 ④新潮社 ③増補改訂版
	新春・二派文楽の競演 「曾根崎心中」の復興を中心に	劇評	大西重孝		演劇界	第13巻 第2号	①昭和30年2月 ④演劇出版社 ③昭和30年1月四ツ橋文楽座所演（短評）
	文楽二座評 (因会と三和会)	劇評	藤野義雄		幕間	第10巻 第2号 (115号)	①昭和30年2月 ④和敬書店 ③昭和30年1月四ツ橋文楽座所演（短評）

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	子供・曾根崎・菅原 —正月の両文楽	劇評	北岸佑吉		演劇評論	第3巻 第3号	①昭和30年3月 ④演劇評論社 ③昭和30年1月四ツ橋文楽座所演
	過大舞台の破綻 九月の文楽座	劇評	北岸佑吉		幕間	第11巻 第10号 (136号)	①昭和31年10月 ④和敬書店 ③昭和31年9月道頓堀文楽座所演(短評)
カ404	鬼一法眼三略巻	梗概 解説	林京平		演劇百科大事典	2	①昭和35年6月 ④平凡社
					総合日本戯曲事典		①昭和39年2月 ④平凡社
	文楽若手の登用	劇評	北岸佑吉		演劇界	第22巻 第8号	①昭和39年8月 ④演劇出版社 ③昭和39年7月朝日座所演
269	鬼一法眼三略巻	研究	沢野邦子		近世演劇の思想と 伝統 —時代浄瑠璃の研究—		①昭和41年1月 ④東京都立大学伝統文化の会 ③奥書の書名は『近代演劇の思想と伝統』。昭和59 年11月有精堂『日本文学研究資料叢書 浄瑠璃』に 再録
	団蔵さんに敬意 引退興行の「鬼一」「意休」	参考	三宅周太郎		歌舞伎座筋書		①昭和41年4月 ④歌舞伎座 ③《6》鶴沢友次郎による「書写山」の伝承につい て
カ244、 340、 363、 404、525	『鬼一法眼』鑑賞と戯曲研究	研究	内山美樹子		演劇界	第24巻 第6号	①昭和41年5月 ④演劇出版社 ③特集：『鬼一法眼三略巻』研究
168、 269、525	「鬼一法眼三略巻」について	芸談	《8》竹本綱大夫		朝日座筋書		①昭和41年9月 ④文楽協会
525	関西劇場街採点 寿海・雷蔵の舞台 文楽の牛若・弁慶	劇評	北岸佑吉		演劇界	第24巻 第12号	①昭和41年10月 ④演劇出版社 ③昭和41年9月朝日座所演
168、 269	「鬼一」の復活について	演出	山口廣一		国立劇場文楽公演 解説書	第1回	①昭和41年11月 ④国立劇場事業部
	文楽の首シリーズ1 「鬼一」のカシラ 鬼若丸 奴虎蔵実は牛若丸 皆鶴姫	演出	斎藤清二郎				

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
525	気迫こもる『菊畑』 国立小劇場の文楽	劇評	安藤鶴夫		読売新聞	夕刊	①昭和41年11月21日 ④読売新聞社 ③昭和41年11月国立劇場所演
	越路襲名の『河庄』など	劇評	内山美樹子		演劇界	第24巻 第14号	①昭和41年12月 ④演劇出版社 ③昭和41年11月国立劇場所演
363、 525	かしら雑記(四) —「鬼一法眼三略巻」復活上演について—	演出	吉田文雀		上方風流	第八号	①昭和42年2月 ④「上方風流」編集所 ③『国立劇場上演資料集363』に改訂して収録
	時代劇の大物	解説 鑑賞	浜村米蔵		国立劇場歌舞伎公 演解説書	第27回	①昭和44年10月 ④国立劇場事業部
525	文楽の「鬼一法眼三略巻」 歌舞伎演出から丸本演出への還元	研究	山口廣一				
	牛若をめぐるメルヘン	鑑賞	杉本苑子				
	『鬼一法眼三略巻』関係	解説	長田午狂＝編		国立劇場上演 狂言風俗備要抄		①昭和44年10月 ④国立劇場調査養成部芸能調査室
	関西劇信 文楽の近松物など	劇評	北岸佑吉		演劇界	第31巻 第6号	①昭和48年6月 ④演劇出版社 ③昭和48年4月朝日座所演
	手摺 三、時代物＝通し狂言 鬼一法眼三略巻	解説	山田庄一		文楽 人形の美学		①昭和49年10月 ④毎日新聞社 ③森晋六・榎本由喜雄・山田庄一・佐藤鉄彌＝編集 ／林嘉吉＝写真
	景事 綱大夫聞書 秋 咲大夫襲名	芸談	山川静夫	《8》竹本綱 大夫	綱大夫四季		①昭和49年10月 ④南窓社 ③昭和41年9月所演の「鬼一法眼三略巻」について
							①平成16年6月 ④岩波書店 ③文庫版
439	長唄義太夫五條橋	解説 本文	長田午狂他		日本舞踊全集	第2巻	①昭和53年5月 ④日本舞踊社
	《弁慶もの》の浄瑠璃	研究	景山正隆		季刊邦楽	春 18号	①昭和54年3月 ④株式会社邦楽社 ③特集：「弁慶もの—名曲のルーツⅡ—」
	関西劇信 久し振りで賑わう話題	劇評	大鋸時生		演劇界	第37巻 第6号	①昭和54年6月 ④演劇出版社 ③昭和54年4月朝日座所演
269	「鬼一法眼三略巻」考	研究	権藤芳一		国立劇場文楽公演 解説書	第50回	①昭和54年9月 ④国立劇場事業部

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
525	演劇評「文楽」	劇評	内山美樹子		読売新聞	夕刊	①昭和54年9月13日 ④読売新聞 ③昭和54年9月国立劇場所演
	珍しい『八陣』だが…。	劇評	如月青子		演劇界	第37巻 第11号	①昭和54年10月 ④演劇出版社 ③昭和54年9月国立劇場所演
	一口メモ 「菊畑」	演出	吉田文雀		朝日座筋書		①昭和56年10月 ④文楽協会
	関西劇信 出色の東海林太郎像	劇評	岡崎文		演劇界	第39巻 第14号	①昭和56年12月 ④演劇出版社 ③昭和56年10月朝日座所演
	鬼一法眼と大蔵卿	研究	松崎仁		国立劇場歌舞伎公演 解説書	第133回	①昭和60年11月 ④国立劇場
	「判官もの」とその登場人物 —『義経記』との関連から—	研究	梶原正昭				
	天狗と軍法	参考	荒俣宏				
	「ゆかりの地」あれこれ * 鬼一法眼三略巻	史跡	田結莊哲治		国立文楽劇場文楽 公演解説書	第15回	①昭和61年8月 ④国立劇場 ③五條橋のみ
						第43回	①平成3年11月 ④日本芸術文化振興会
						第51回	①平成5年7月 ④日本芸術文化振興会 ③五條橋のみ
	文楽劇信 貴重品『八百屋献立』	劇評	富岡泰		演劇界	第44巻 第10号	①昭和61年9月 ④演劇出版社 ③昭和61年8月国立文楽劇場所演（短評）
	歌舞伎に移された『橋弁慶』	研究	松井俊諭		観世	第54巻 第8号	①昭和62年8月 ④檜書店
	人形のいろいろ⑦ 「奴虎蔵」	演出	I = 執筆 飯村隆 = 撮影		国立劇場文楽公演 解説書	第82回	①昭和62年12月 ④国立劇場
	「鬼一法眼」考	劇評	富岡泰		演劇界	第46巻 第1号	①昭和63年1月 ④演劇出版社 ③昭和62年12月国立劇場所演
	弁慶	研究	谷川健一		国立文楽劇場文楽 公演解説書	第43回	①平成3年11月 ④日本芸術文化振興会
	〈菊畑〉に時代物の味	劇評	田結莊哲治		演劇界	第50巻 第1号	①平成4年1月 ④演劇出版社 ③平成3年11月国立文楽劇場所演

上演資料 集掲載号	題 名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号 数	備 考
	『染模様妹背門松』の改悪物	劇評	安土政夫		上方芸能	111号	①平成4年5月 ④『上方芸能』編集部 ③平成3年11月国立文楽劇場所演
	『鬼一法眼三略巻』ほか 一床を中心に 二月文楽 (国立文楽劇場)	劇評	水口一夫		歌舞伎 研究と批評	9	①平成4年6月 ④リポート ③平成3年11月国立文楽劇場所演
	達者な伊達・文雀の義平次	劇評	田結莊哲治		演劇界	第51巻 第11号	①平成5年9月 ④演劇出版社 ③平成5年8月国立文楽劇場所演
	残暑見舞いの文楽公演	劇評	富岡泰		演劇界	第51巻 第12号	①平成5年10月 ④演劇出版社 ③平成5年9月国立劇場所演(短評)
	鬼一法眼の変貌	研究	服部幸雄		国立劇場歌舞伎公演解説書	第183号	①平成5年12月 ④日本芸術文化振興会
	「菊畑」の舞台、もう1つの楽しみ方	参考	鳥居恒夫				
	視線に深い愛情『心中宵庚申』のお千代半兵衛	劇評	宮辻政夫		上方芸能	117号	①平成6年3月 ④『上方芸能』編集部 ③平成5年8月国立文楽劇場所演(短評)
	『五条橋』と『寺子屋』	劇評	田結莊哲治		演劇界	第53巻 第8号	①平成7年7月 ④演劇出版社 ③平成7年6月国立文楽劇場所演
	文楽のかしらシリーズ26 「鬼一」	解説 鑑賞	吉田文雀＝解説 飯村隆＝撮影		国立劇場文楽公演 解説書	第112回	①平成7年9月 ④日本芸術文化振興会 ③平成18年2月日本芸術文化振興会発行古典芸能入門シリーズⅢ『文楽のかしら』に加筆修正して収録
	人形浄瑠璃の歴史(25) 三味線列伝(5) * 六世鶴沢友次郎	研究	井野辺潔				③「菊畑」の伝承について
	文楽9月公演	劇評	内山美樹子		読売新聞	夕刊	①平成7年9月13日 ④読売新聞社 ③平成7年9月国立劇場所演
525	「菊畑」と「五人伐」	劇評	水落潔		演劇界	第53巻 第12号	①平成7年10月 ④演劇出版社 ③平成7年9月国立劇場所演
	震災後の文楽と九代目綱大夫誕生 一文楽・九五年八月～九六年一月—	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批評	17	①平成8年6月 ④歌舞伎学会 ③平成7年9月国立劇場所演

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	男の世界と女の世界 —浄瑠璃劇の1つの対立軸— 六 九郎御曹司の場合	研究	松崎仁		日本文学研究	32	①平成9年1月 ④梅光女学院大学日本文学会
					舞台の光と影 近世演劇新攷		①平成16年5月 ④森話社
	『俊寛僧都嶋物語』論	研究	石川秀巳		国際文化研究科論 集	6	①平成10年12月 ④東北大学大学院国際文化研究科 ③「鬼一法眼三略巻」の『俊寛僧都嶋物語』への影 響等について
	大蔵卿転生譚 —浄瑠璃から歌舞伎へ—	研究	児玉竜一		国立劇場歌舞伎公 演解説書	第212回	①平成11年1月 ④日本芸術文化振興会
	歌舞伎のお宝③ 六韜三略	研究	佐藤悟				
	演劇にみる伴狂	研究	堀川諭		大手前女子大学論 集	32	①平成11年2月 ④大手前女子大学
	ムダのない玉男の孫右衛門	劇評	宮辻政夫		演劇界	第57巻 第10号	①平成11年7月 ④演劇出版社 ③平成11年6月国立文楽劇場所演（短評）
	文楽歴史散歩 【五條橋】	史跡	田結荘哲治		文楽地方公演プロ グラム		①平成11年9月・平成12年2月 ④文楽協会 ③平成11年度地方公演
	文楽よもやま話	鑑賞	高木浩志＝著 榎その＝絵				
439	玉男芸話12 『鬼一法眼三略巻』	芸談	森西真弓	吉田玉男	国立劇場上演資料 集	439	①平成13年12月 ④日本芸術文化振興会
	千歳大夫の金殿	劇評	福本和生		演劇界	第60巻 第3号	①平成14年1月（2月号） ④演劇出版社 ③平成13年12月国立劇場所演（短評）
	文楽なんでも誌 「義経の足跡」	史跡	田結荘哲治		国立文楽劇場文楽 公演解説書	第88回	①平成14年11月 ④日本芸術文化振興会
	関西劇信 文楽と多彩な舞台	劇評	坂東亜矢子		演劇界	第61巻 第1号	①平成14年12月 ④演劇出版社 ③平成14年11月国立文楽劇場所演
	豊竹咲甫大夫、思い入れのある名場面 鬼一法眼三略巻 五条橋の段	随想	豊竹咲甫大夫		豊竹咲甫大夫と文 楽へ行こう		①平成14年12月 ④旬報社
	力強さと静かさと劇	劇評	片山剛		上方芸能	147	①平成15年3月 ④『上方芸能』編集部 ③平成14年11月国立文楽劇場所演
	解説もエンターテイメント	劇評	亀岡典子		演劇界	第61巻 第9号	①平成15年7月（8月号） ④演劇出版社 ③平成15年6月国立文楽劇場所演（短評）

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	二〇〇二年下半期の文楽	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批評	31	①平成15年8月 ④歌舞伎学会 ③平成14年11月国立文楽劇場所演
	五條橋	現代語訳	江南真理＝執筆 平島高文＝監修		物語で学ぶ日本の 古典芸能	四 文楽	①平成16年4月 ④くもん出版
	時代物 男の巻 二十四 鬼一法眼三略巻	解説	高木秀樹＝著 青木信二＝写真		あらすじで読む 名作文楽50		①平成17年7月 ④世界文化社 ③ほたるの本
	文楽の中核となる中堅若手の好演	劇評	中村桂子		演劇界	第64巻 第3号	①平成18年1月 ④演劇出版社 ③平成17年12月国立小劇場所演
	『鬼一法眼三略巻』三段目攷 —二つの兵法習得譚を巡って—	研究	伊藤りさ		早稲田大学大学院 文学研究科紀要	第五一輯 第三分冊	①平成18年2月 ④早稲田大学大学院文学研究科
	『鬼一法眼虎の巻』試論	研究	宮本祐規子		国文目白	第45号	①平成18年2月 ④日本女子大学国語国文学会
	清新な『五條橋』	劇評	坂東亜矢子		演劇界	第64巻 第11号 (8月号)	①平成18年7月 ④演劇出版社 ③平成18年6月国立文楽劇場所演
	解題—鬼一法眼三略巻	解題 梗概	桜井弘		義太夫節浄瑠璃未 翻刻作品集	⑨	①平成19年5月 ④玉川大学出版部 ③義太夫節正本刊行会＝編集
	三業の将来を占う「太十」	劇評	亀岡典子		演劇界	第66巻 第8号	①平成20年8月 ④演劇出版社 ③平成20年6月国立文楽劇場所演